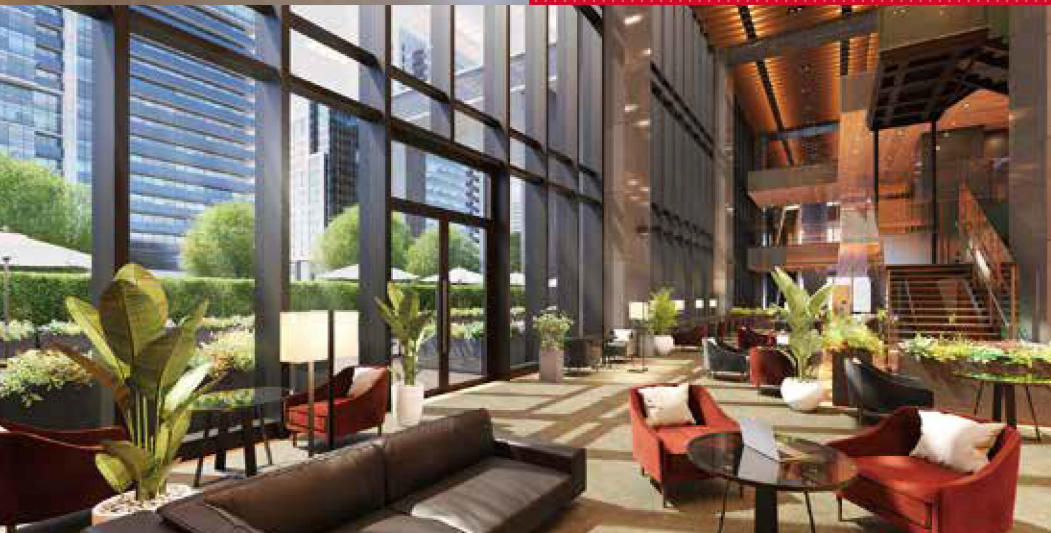




一般社団法人
パンデミックレディ・コンソーシアム



**SECURE
LIFE
with
PRC** Pandemic
Ready
Consortium



エビデンスに基づいた感染症に強い社会の実現

エビデンスに基づいた 感染症に強い社会の実現

- ✔ 新興感染症（2類相当以下）を含むほぼすべての感染症に対応
- ✔ 4つの感染経路（空気、エアロゾル、飛沫、接触）ごとに感染リスクを抽出
- ✔ 設備、施設（建物）、運用の3つの側面から、現況を多角的に評価
- ✔ その場しのぎではない、持続可能な“普段からの備え”を重視
- ✔ 過剰な対策を省き、リスクに見合ったミニマル・エッセンシャルをご提案
- ✔ 新しい科学的知見に基づく、感染症対策のアップデートをご提供



パンデミックレディ・コンソーシアム

secure life 1

各種施設に対して感染症対策のリスク評価を実施し、感染症対策上の脆弱性をピンポイントであぶり出す

secure life 2

リスク評価の結果に基づき、最適な解決方法を提案

secure life 3

基準をクリアした施設やプロダクトに対し認証バッジを付与、定期的な更新および管理を支援

PRJ

順天堂大学大学院 Pandemic Ready 共同研究講座

コンセプトを支える
感染症に向けた研究を行い
技術・知見を提供



！ 認証取得後も最新の科学的知見をアップデート！

パンデミックレディ・コンソーシアムでは、Pandemic Ready共同研究講座（順天堂大学大学院・清水建設株式会社）で共同開発した感染リスク評価ツール（iRAT*）を活用し、パンデミックレディ認証取得後も時々刻々と変化する世界的感染症の推移を捉え、認証施設の感染症対策を常に最新の状態にアップデートしていきます。

*iRAT:infection Risk Assessment Tool／感染症拡大のリスクを全方位から検証するシステム

一般社団法人 パンデミックレディ・コンソーシアム 代表理事
順天堂大学大学院 感染制御科学講座 / Pandemic Ready共同研究講座 教授

堀 賢 Satoshi HORII



実施事例

CASE 1

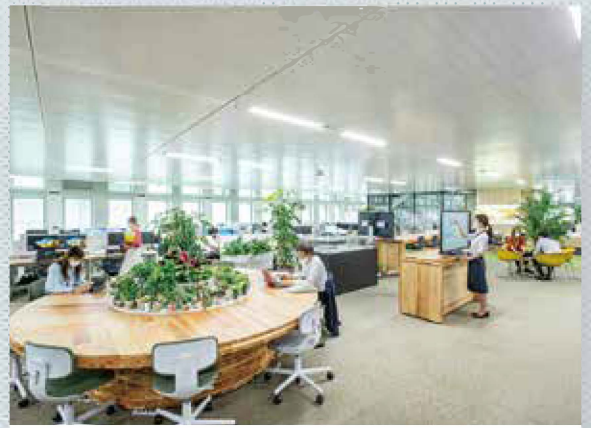
清水建設本社
SHIMZ Creative Field® 様

本社屋のリノベーションにあたり、従業員の感染症に関する安全性を高めながら、よりクリエイティブな働き方を実現するワークスペース (ABW対応) 整備を行いました。会話が極めて少ない集中席では、背の高いパーティションや観葉植物で区切り飛沫の飛散を防止するとともに、落ち着ける空間としました。また会話を多く行うコミュニケーション席では、人の密度を低く抑えて対策のメリハリをつけています。

voice 田中 厚三様

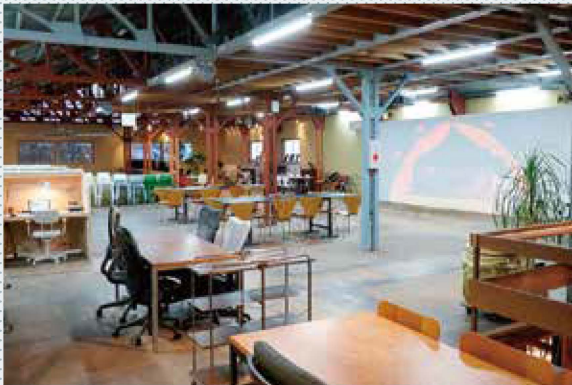
清水建設株式会社
設計本部ビジネスソリューション部 グループ長

社員同士の「共創」を促進するワークスペースを目指し、働き方のシーンによる会話量の違いに着目して人の混雑具合をコントロールできるようなオフィスレイアウトを工夫しました。改修後のアンケートでは、「働く場所や時間の選択の自由度」に対する満足度が大幅に向上したことが確認できました。



▶用途：オフィス（本社ワークスペース）

iRATに基づいて感染リスクを予測。コミュニケーションの活性化と感染リスク低減を両立したオフィスを実現しました。



▶用途：店舗兼シェア工房・オフィス

工房のロフトスペースをシェア工房・オフィスへ改装。若手漆職人が、感染症を心配しないで切磋琢磨できる安全安心なスペースが誕生しました。

実施事例

CASE 2

HHT
(Human Hub Tenneiji soko) 様

会津の歴史ある会津漆器工房を改装し、1階に店舗、カフェ、シェアキッチン併設。天井設置の換気扇で十分な換気を確保。ゆったりしたスペースで自然に距離がとれるので飛沫感染のリスクも低減。椅子やテーブルは、清掃性の良い素材を選び、接触による感染リスクにも配慮しました。

voice 関 千尋様

株式会社関美工堂 副代表

新規に事業を開始する前に、感染症対策の専門家の観点から、構造や設備、運用面での工夫まで含めて、トータルでご評価いただき、実用的なアドバイスをいただきました。アドバイスの内容はどれも納得できるもので、非常に役に立ちました。

実施事例

CASE 3

いろりの宿
芦名 様

昭和23年に建てられた老舗温泉旅館です。木造伝統家屋の良さを残すために近代化改修が容易でない中、シンボルである“いろり”の煙突を活かし、自然で穏やかな換気を実現しました。さらに換気効率を最大限にするために、いろりがある部屋の扉の開閉ルールを定めました。また、食堂や大浴場の時間帯をずらして対応するなど、運用面での対応を積極的に行い、感染症が拡大しにくいように配慮しました。

voice 和田 美千代様

いろりの宿 芦名 女将

業界のガイドラインを参考にしながら、手探りで自分なりに工夫してきましたが、本当にこれで大丈夫なのか、常に気がかりでした。このように専門家の方々に実情を踏まえながら、分かりやすくアドバイスを受けられたので、すごく安心できました。



▶用途：温泉付き宿泊施設

昭和レトロな雰囲気温泉旅館。いろりを囲んだゆったりとした時間を安心して過ごせるように、感染症対策という“新しいおもてなし”を始めました。

環境に合わせた最適な感染症対策を

生活におけるすべての空間が対象です

我々が遭遇する感染症は、パンデミックだけではなく、毎年の季節性インフルエンザやノロウイルスによる感染性胃腸炎などさまざまです。

医療現場で開発された最高レベルの感染症対策から、感染リスク評価ツール (IRAT) に基づき、日常のリスクレベルに見合った項目に絞った対策をご提案します。合理的かつ経済的な感染症対策こそ、普段からの備えとして「真に持続可能」であると考えます。

取得までの流れ flow

- 1 事前審査** 施設診断のための書類をご提出いただき、事前に審査します。
- 2 調査・診断** 調査コンサルタントが現地に出向き、建物および空間の調査を実施します。
※施設や空間に合わせた150-180項目の評価に対する診断を実施
- 3 コンサルティング**
評価基準がクリアできるよう改善案を提案します。
- 4 認証発行**
基準をクリアした施設に対して認定評価をします。
また、施設・建築物だけでなく、ソリューション・プロダクトへの認定も実施します。



CERTIFIED
基本グレード

認証基準を満たした施設であることを証明する基本グレードです。



SILVER
シルバーグレード

ベーシックグレードより優位性の高い感染症対策が施された施設であることを証明するグレードです。



GOLD
ゴールドグレード

最上の感染症対策が施された施設であることを証明するプレミアムグレードです。

費用 price list

認証を取得するには、審査費用、コンサルティング費用、認証登録費用が必要となります。

工程	審査	コンサルティング(改善指導)	認証登録	認証更新	再登録
工程別実施内容	・書類審査 ・現地調査 調査は150-180項目	・審査結果報告書 ・改善提案 改善実施活動は別途	・グレード認定 ・登録票発行(1年間有効)	・簡易書類審査(アップデート) ・登録票発行(2年目、3年目)	・簡易審査(書類・現地) ・グレード再認定 ・登録票発行(1年間有効)
工程別価格(円)※	250,000~	350,000~	100,000~	150,000~	200,000~
認証登録パッケージ(円)※	650,000~				
認証更新3年パッケージ(円)※	900,000~				

※施設の規模や条件により費用が異なりますので、お打ち合わせ後に詳細なお見積りを提示します。

お問い合わせ contact

